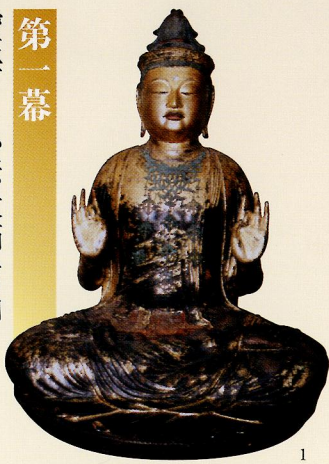


二〇一四(平成26年、弘法大師空海(774-835)が四国霊場を開創したといわれる弘仁六(815)年から数えて二二〇〇年の節目を迎えました。これを記念して開催する「空海の足音 四国へんろ展」は、長い歴史の中で育まれてきた四国遍路という文化を改めて捉え直していこうとするものです。空海の生涯や弘法大師信仰の興隆、四国遍路の成立展開とともに、札所に伝えられた信仰の世界などを、最新の調査研究成果を踏まえながら、国宝四件、重要文化財一八件を含む多数の文化財を通じて紹介します。これらの中には、初めて展示公開されるものもあります。あわせて、徳島県出身の写真家三好和義の撮影による四国霊場の写真コーナ―を設け、四国遍路の「いま」をデジタルに伝えます。

この展覧会が、四国遍路の過去、現在を結び、未来へ向けての一步となるように、そして、世界遺産登録に向けての機運の高まりにつながることを念願しています。

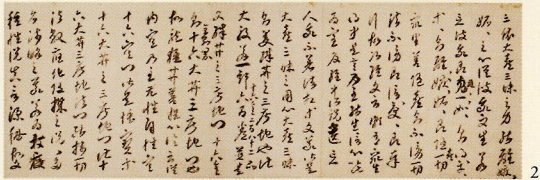
\*作品保存のため、会期中、一部作品の展示替えを行います。



### 第一幕

#### 空海と弘法大師信仰

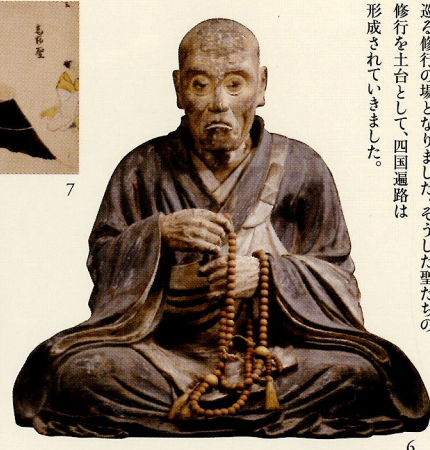
讃岐に生まれ、後に唐に渡って真言密教を日本に伝えた弘法大師空海。入定後、末法思想や浄土信仰の流行とあいまって、弘法大師が人々の救済のために生き続けているという信仰がさかんになり、高野山が霊場として栄えるとともに、各地で大師信仰の霊場が誕生しました。



### 第二幕

#### 道行く聖と四国遍路の形成

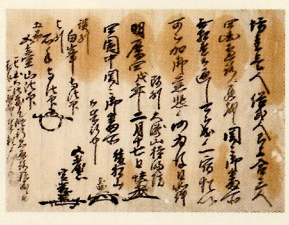
四国は空海の故郷であるとともに、浄土としてイメージされ、平安時代後半以降、山伏など、様々な聖(修行僧)が巡る修行の場となりました。そうした聖たちの修行を土台として、四国遍路は形成されていきました。



### 第三幕

#### 四国遍路の定着と展開

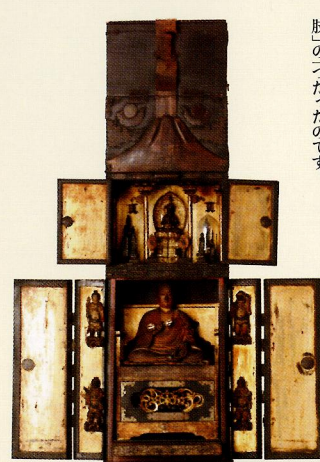
四国を巡る修行に大師信仰が融合し、さらには札所八十八ヶ所が定まって、江戸時代には、四国遍路が完成しました。道標がたてられたり、ガイドブックやガイドマップなどが出版されたりして、民衆の旅がさかんでした。明治時代初期には、いったん衰退しますが、次第に復興し、さまざまな旅のスタイルが見られるようになりました。



### 第四幕

#### 四国遍路の周縁

四国の人々の中に根づいていた巡礼あるいは四国へやって来る人々にとっての巡礼は、遍路だけではありませんでした。西国巡礼、六十六部廻国巡礼などが行われたほか、金毘羅参詣、伊勢参詣などもさかんでした。さらに、長距離の旅に出られない人々のための二巡礼として、写し霊場が各地につくられました。四国遍路は、巡礼文化の多様な展開の中で「選択版」の二つだったのです。



### 第五幕

#### 信仰と美―札所の文化財

札所にはそれぞれの歴史と個性があります。そして、各札所に伝来する宝物は、まさに文化財として、長きにわたって続いてきた信仰の世界の厚みと多様性を物語ります。



### 第六幕

#### 四国遍路のいま

―写真家三好和義による霊場写真―  
二〇世紀末から続く経済の低迷、社会不安の中「癒し」や自分探しの旅として、世代を超えて四国遍路はさかんに行われています。古くからの伝統とともに現代的な意味をもつて生きていく、今なお現在進行形の四国遍路の世界にアプローチし、未来をも考えてみたいものです。

- 1: 重要文化財 弥勒菩薩坐像(徳島県 東林院蔵)
- 2: 国宝 空海筆 金剛般若経開題殘卷(部分)(奈良国立博物館蔵、森村欣司氏撮影)
- 3: 徳島県指定文化財 弘法大師坐像(徳島県 熊谷寺蔵)
- 4: 徳島県指定文化財 弘法大師坐像(徳島県 焼山寺蔵)
- 5: 重要文化財 空也上人立像(愛媛県 浄土寺蔵) 写真提供 九州国立博物館(山崎信一氏撮影)
- 6: 重要文化財 重源上人坐像(兵庫県 浄土寺蔵) 写真提供 奈良国立博物館(森村欣司氏撮影)
- 7: 三十二番歌人歌合(部分)(徳島県 立木博物館蔵)
- 8: 徳島県指定文化財 勤善寺大般若経巻二〇八(部分)(徳島県 勤善寺蔵)
- 9: 廻り手形(個人蔵)
- 10: 廻国行者の笈(徳島県 立木博物館蔵)
- 11: 廻国行者の笈(徳島県 東福寺美術館蔵)
- 12: 徳島県指定文化財 日光菩薩・月光菩薩立像(徳島県 井戸寺蔵)

他県開催情報 \*本展は巡回展ではなく、各県で展示作品が異なります。

- 高知編** 高知県立美術館:8月23日[土]~9月23日[火・祝]
- 愛媛編** 愛媛県美術館:9月6日[土]~10月13日[月・祝]
- 香川編** 香川県立ミュージアム:10月18日[土]~11月24日[月・休]

主催:四国へんろ展徳島実行委員会、徳島県教育委員会、徳島新聞社、四国へんろ展開催協議会  
特別協力:四国八十八ヶ所霊場会、四国八十八ヶ所霊場会阿波部会、高野山真言宗総本山金剛峯寺、総本山普通寺  
協力:四国大学、鳴門教育大学/後援:国土交通省四国地方整備局、四国霊場開創1200年連絡協議会、「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会  
特別協賛:日本通運株式会社/総合監修:真鍋俊昭氏(四国大学教授)

JR徳島駅からバスをご利用ください。  
 ◎徳島市営バス3番のりば「文化の森」行き直通バスに乗りし18分、終点「文化の森」で下車。  
 ◎徳島市営バス3番のりば「しらさぎ台」行き、「一宮」行き、または「天の原(入田)」行きに乗りし16分、「圓瀬橋」下車。徒歩約10分。  
 ◎徳島バス4番のりば「仁井田西」行き、または「在那河内線 神山高校前」行きに乗りし16分、「圓瀬橋」下車。徒歩約10分。  
 \*JR文化の森駅からは、徒歩で約35分(2km程度)です。タクシーバスの便はありませんので、ご注意ください。

